

植物保護学特論Ⅱ (2単位)

担当者氏名 根岸寛光

◆学習・教育目標

作物に発生する病害は作物の安定生産を阻害する重要な要因である。本特論では病害の原因の解明とその制御を目的として、病原学、植物と病原との相互反応、発生生態等を解説し、防除方法の現状を解説する。植物病理学関連のトピックスについては外部講師を招き、最新の情報を提供する。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

植物菌類病学	植物細菌病学	植物ウイルス病学	植物検疫
診断・同定	発生生態	病害防除法	環境保全型農業

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	ガイダンス		
2	植物病理学の歴史		
3	病原学(菌類学)	病原の特性、分類、同定	
4	病原学(菌類学)		
5	病原学(細菌学)		
6	病原学(細菌学)		
7	病原学(ウイルス学)		
8	病原学(ウイルス学)		
9	感染生理	植物と病原の相互反応	
10	発生生態	病害の生活環	
11	病害防除法	耕種的防除、化学的防除、生物的防除	
12	同上	総合的防除システム	
13	植物病理学研究最前線	新しい研究成果の紹介	
14	同上		
15			

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

植物病理学/大木 理/東京化学同人 (2005)

植物病理学/眞山滋志・難波成任編/文英堂 (2010)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

Plant Pathology/Agrios G. N. /Elsevier Academic Press (2005)

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

講義時の質疑応答ならびに課題発表で評価する。

◆その他受講上の注意事項

学内外で開催される日本植物病理学会 EBC 研究会ワークショップ、日本農薬学会農薬生物活性研究会シンポジウム、日本植物防疫協会シンポジウム、報農会シンポジウムなど、植物病理学に関する学術集会等への参加およびその内容に関するレポートを義務づけることがある。